

2025(令和7)年12月5日

各位



## のべおか知財ワークショップ2025 ・第1回(10/31)・第2回(11/21)

延岡信用金庫(理事長:黒木哲也)は、知的財産を事業戦略に取り込むための知識・ノウハウを学ぶ「のべおか知財ワークショップ2025」を開講し、第1回ワークショップを10月31日(延岡カルチャープラザ多目的ホール)、第2回ワークショップを11月21日(延岡駅西口街区ビル)にて開催した。

記

### 1. 第1回ワークショップ(10月31日開催)

会場:延岡カルチャープラザ多目的ホール

内容:

#### ●開講式

主催者・協力団体・サポーターより、本事業の目的や地域企業への期待について挨拶を実施。

#### ●身近な事例で知財リスクを理解するワーク

商談・契約・展示など実務で遭遇し得る典型的な知財リスクを題材に、トラブルの構造と回避の視点を整理。

参加企業が「自社に当てはまる危険ポイント」を認識する機会となった。

#### ●GPTSを活用した先行技術特許文献調査ワーク

特許文献の検索方法、読み方、比較手法を、GPTS(生成AI)を用いて実習。

複雑な技術文献の要点抽出や比較作業をAIが支援することで、参加企業が短時間で理解できる構成とした。

#### ●有料版ChatGPTを使ってみようワーク

知財分析や技術整理に活用できる指示(プロンプト)の作り方を学び、アプリ生成機能を用いた簡易アプリ作成も体験。

AIによる業務効率化・技術整理の可能性を実感する内容となった。

(主催者挨拶)

(ワーク:特許庁HPやGPTSを使用)



## 2. 第2回ワークショップ（11月21日開催）

会場：延岡駅西口街区ビル

内容：

### ●TRIZ×GPTS で自社技術をアイデア拡張するワーク

TRIZの「発明的問題解決アプローチ」をGPTSと組み合わせ、技術機能の分解・矛盾抽出・解決方向の提示をAIが支援。通常は理解負荷が高いTRIZを、企業が“使える形”に再構成したワークとなった。

### ●大学シーズ×GPTS でマッチング候補を探索するワーク

GPTSを用いて、各企業の技術特徴と大学研究シーズの適合性を自動抽出。技術連携の可能性、新用途候補、事業化の方向性などを検討した。

### ●顧客課題起点でニーズ検証する講座

新事業アイデアが市場に受け入れられない典型的な失敗要因を整理し、“顧客課題の再構成”を軸とした事業性の検証方法を解説。

### ●NotebookLM の紹介

技術資料や論文を高速で理解するためのAIツールとしてNotebookLMを紹介。自社技術理解や調査業務における活用可能性を提示した。

（アイデア出しを職員や支援機関が伴走） （宮崎大学のシーズ・活用例の紹介）



以上

本件に関するお問合せ先

延岡信用金庫  
業務部 0982-22-1111  
又は、最寄りの本支店迄